

- (株)シーテックは、エネルギー・情報通信・土木設備の保守・工事を行う中部電力グループの電力設備企業であり、長年にわたり送電線鉄塔の保全や工事を展開しています。
- 尾根や山の中腹など山間地に数多く建設された送電線鉄塔の保守は、重機や車両の乗り入れが困難であるだけでなく、近年の異常気象を原因とする集中豪雨などの自然災害への対策が課題でした



- そこで、これまで培われてきた送電線鉄塔の保守のノウハウから環境負荷の小さい「KODOBOKU技術」を生み出すとともに、3D測量と流体解析による災害危険個所の予測技術を開発し、送電線鉄塔のみならず山間地の保全を実現しました。

- ドローン等による3D測量により高精度な地形モデルを作成します。さらに地質と雨量を解析条件として入力し斜面流水の方向や量、速さを可視化することで、災害要因を抽出、対策を立案します。



KODOBOKU (小土木) 技術 対策例

- 現地素材を集めて、傾斜地でも移動が容易なサイズで手軽に組み立てられる土嚢やブロックのようなコンパクト資材を使用し、表面水の無害化による防災・減災技術として様々な場所で活用可能です。



流水抑制・分散排水
(ストーンバック)



小規模土砂・流水堰止め
(ストーンキューブ)



流速低減・表土流出防止
(ステンレス土嚢+地中シガラ)

- 脱プラ、脱廃棄物を目的とした金属製品の開発と、低炭素実現のため現地素材を活用した対策工事を実施します。

脱プラ提案

従来土嚢袋

ステンレス土嚢袋

低炭素提案

現地素材利用

施工例